

下肢病変の早期発見と改善を目指した フットケアの取り組み

医療法人社団茨腎会 太田ネフロクリニック
看護師 阿久津陽子

山中祐治 佐藤小百合 西野貴江

二階堂剛史 酒井伸一郎

社会福祉法人 恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院

田口恵子 宮田忠明 千葉義郎

【背景】

現在、日本における維持血液透析患者は30万人を超え、糖尿病性腎症の増加、高齢化に伴い重症下肢虚血肢の患者が増加している。

透析患者における下肢切断の予後は、5年生存率30%程度とされ非常に悪い。よって、透析患者の予後改善、QOL改善のためにもフットケアの重要性が増してきている。

【目的】

当院では、維持血液透析患者に定期的にフットケアを行っていたが、看護師間で評価やケアの差が生じていた。

そこで、看護師間で評価やケアの差をなくすために、下肢病変を客観的に評価するコホート管理とフットケアシートを活用、早期の対応とケアの継続が図れたので報告する。

【方法】

•対象患者

当院維持血液透析患者

227名から選出(男性144名 女性83名)

平均年齢66.3±12.1歳

平均透析歴6.0±6.2年

•期間

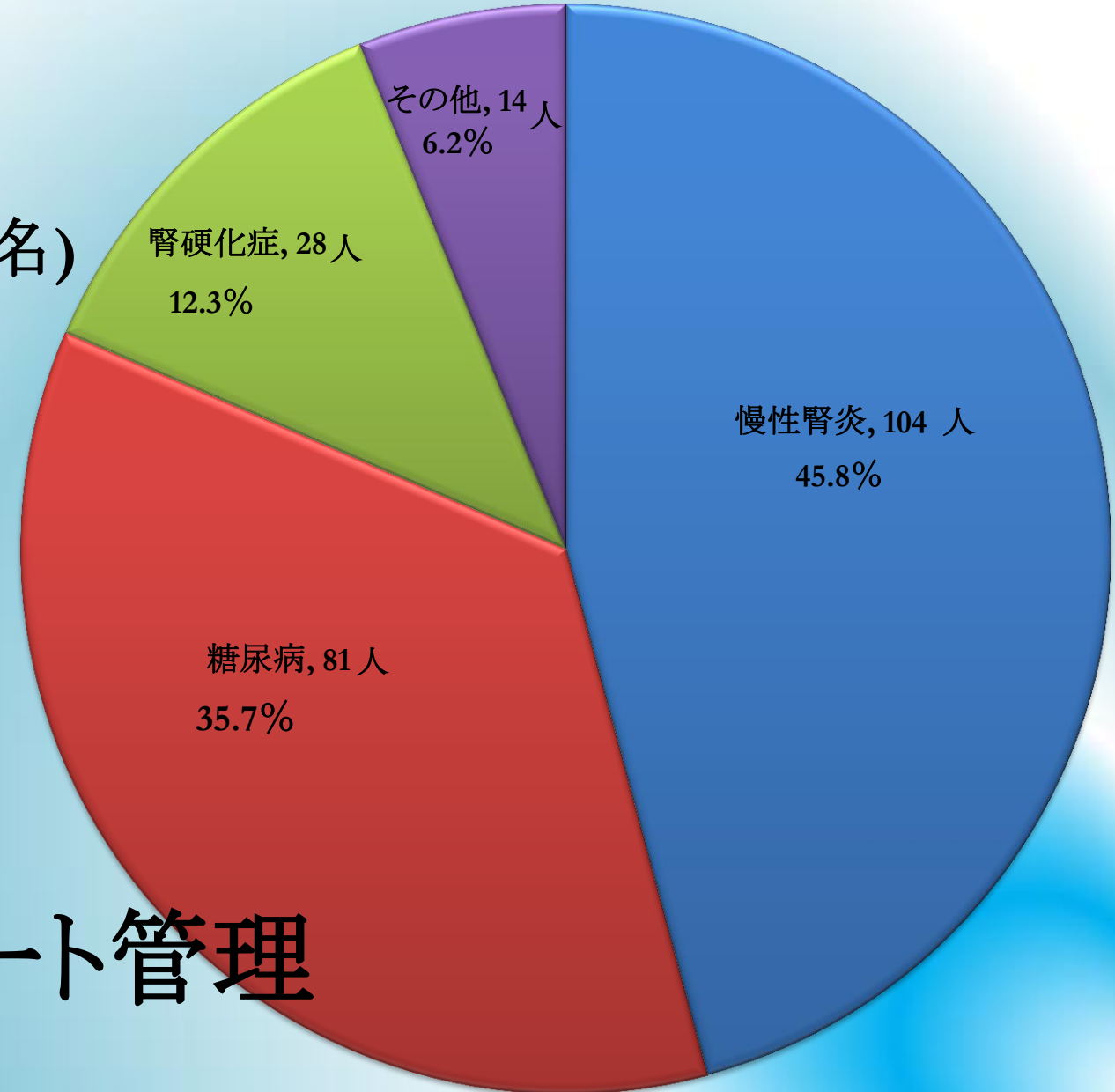
平成25年11月～平成26年2月

•分類項目

Fontaine分類、問診、視触診

•Fontaine分類Ⅲ・Ⅳをコホート管理

【患者の原疾患】



フットケアが必要とされた患者の内訳

*Fontaine分類 I・II度

18名 { 男性14名・女性4名 } 平均年齢65.4±14.5歳

平均透析歴5.9±4.9年

糖尿病9名

非糖尿病9名

*Fontaine分類 III・IV度

15名 { 男性12名・女性3名 } 平均年齢71.5±8.4歳

平均透析歴4.2±3.7年

糖尿病10名

非糖尿病5名

コホート管理(一部屋にまとめる)

入口

4床
ICU

8床

4床

検査室

8床

8床
コホート管理

技術室

新館 全60台

8床

4床

8床
コホート管理

8床

機械室

透析センター
コホート管理

8床

8床
コホート管理

機械室

旧館 全36台

入口

4床

8床

8床
コホート管理

技術室

フットケア方法

フットケアシートを活用し透析開始後、個々に
応じた方法で実施(Fontaine分類 I～IVの患者33名)

血流改善目的	炭酸泉足浴
感染創	ヒビテン足浴
上記足浴で痛みがある場合	微温湯足浴

フットケア・処置内容方法用紙に準じて実施

〇〇 〇〇〇様

フットケア・処置内容

🔥 右下肢ヒビテン足浴

😊 右第1, 5趾: ゲンタシン軟膏4g塗布し、ガーゼ2枚、靴下保護

😊 右膝～足趾: センター用ワセリン20g塗布で保湿

症例

〇〇 〇〇様

フットケア・処置内容

🔥 両下肢微温湯足浴

😊 患部: センター用ゲンタシン軟膏6g塗布し、ガーゼ2枚、靴下保護

😊 両膝～足趾: センター用ワセリン20g塗布で保湿

症例

フットケアシート	氏名	〇〇 〇〇	様	透析曜日	月・水・金	火・木・土
	H26 12/ 4 担当(阿久津)	H26 12/ 17 担当(阿久津)	H26 12/ 22 担当(阿久津)	H26 2 / 24 担当(阿久津)	H26 1 / 5 担当(阿久津)	
足背A触知	有	無	有	無	有	無
膝窩A触知	有	無	有	無	有	無
内顆A触知	有	無	有	無	有	無
しびれ	有	無	有	無	有	無
	部位()	部位()	部位()	部位()	部位()	部位()
冷感	有	無	有	無	有	無
	部位(両足)	部位(両足)	部位(両足)	部位(両足)	部位(両足)	部位(両足)
写真						
写真						
ケア・処置内容	①微温湯足浴 ②ゲンタシン塗布 ③ガーゼ保護2枚	①②③do	①②③do	①②③do	①②③do	

症例

フットケアシート	氏名 ○○ ○○○			様	透析曜日	月・水・金	火・木・土					
	H26 1/17		H26 1/22		H26 1/31		H26 2/5		H26 3/3			
	担当(黒澤)		担当(黒澤)		担当(黒澤)		担当(黒澤)		担当(黒澤)			
足背A触知	有	-	無	有	-	無	有	-	無			
膝窩A触知	有	-	無	有	-	無	有	-	無			
内顆A触知	有	-	無	有	-	無	有	-	無			
しびれ	有	-	無	有	-	無	有	-	無			
	部位()		部位()		部位()		部位()		部位()			
冷感	有	-	無	有	-	無	有	-	無			
疼痛	無		無	無		無	無		無			
写真												
写真												
ケア・処置内容	①ヒビテン足浴 ②ゲンタシン塗布 ③ガーゼ保護 ④ワセリン20g塗布			①②③④do			①②③④do			①②③④do		

症例

【結果】

- 12例は創傷の早期回復・症状改善を認め、悪化が防げた。
- 3例については創傷の回復が得られなかったが、総合病院との連携、また2例においてはアフレスリス療法を加え経過を追っている。

早期回復に至らなかった患者

原疾患	性別	年齢	ABI	Fontaine分類	経過
• 糖尿病	女性	74歳	0.79	IV度	LDL吸着
• 慢性腎炎	男性	68歳	0.99	IV度	LDL吸着
• リウマチ	女性	63歳	0.48	III度 → IV度	転院 → 死亡

【考察】

- コホート管理とフットケアシートの活用は、スタッフ間において共通認識を持ち、治療経過を客観的、協力的に評価、ケアを継続することが可能となった。
- 継続的な評価、ケアは総合病院への早期対応も図ることができた。
- コホート管理は患者同士の共感が生じ、「頑張って治そう」など患者自身の動機づけに有用なことが分かった。また、「痛みが軽くなった」、「切断せずに済んだ」などの声が聞かれ、下肢に無関心だった患者に対してフットケアの重要性を啓蒙することができた。

【結語】

コホート管理、フットケアシートによる継続的なフットケアは、病変の早期発見に繋がり重篤な病態を予防することが期待できる。

維持血液透析患者における下肢病変の早期発見と早期対応から、QOL改善さらには生命予後改善のために、今後もコホート管理とフットケアシートの改善を図っていきたい。

日本下肢救済・足病学会 北海道地方会 COI開示

筆頭発表者名 阿久津陽子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などは、ありません。